



平成24年第3回定例会が、9月26日に開会しました。補正予算、条例の改正などの議案を審議し、いずれも原案のとおり可決し、会期を4日減して閉会しました。また、平成23年度の11会計決算を決算審査特別委員会に付託し、審議の結果、いずれも認定されました。審議した議案のあらましは次のとおりです。

24年度補正予算

- 一般会計補正予算(第3号)
1億1848万2000円を追加し、予算額は84億5185万9000円となりました。
- 一般会計補正予算(第4号)
(追加提案)
330万円を追加し、予算額は84億5515万9000円となりました。
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
579万3000円を追加し、16億9786万5000円となりました。
- 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
259万9000円を追加し、予算額は9億7910万1000円となりました。
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
2060万6000円を追加し、予算額は8億80万6000円となりました。
- 病院事業会計補正予算(第2号)
収益的収入及び支出において、予算の補正はありませんでした。
- 風力発電事業特別会計補正予算(第1号)
434万5000円を追加し、予算額は5279万4000円となりました。
- 営農用水道等事業特別会計補正予算(第1号)
160万円を追加し、予算額は2548万1000円となりました。
- 農用水道施設の漏水修繕費などです。
- 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
259万9000円を追加し、予算額は9億7910万1000円となりました。
- 補正の主なもの、前年度の決算に伴う介護給付費負担返還金などです。
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
2060万6000円を追加し、予算額は8億80万6000円となりました。
- 補正の主なものは、水道施設整備工事の工事費などです。
- 病院事業会計補正予算(第2号)
収益的収入及び支出において、予算の補正はありませんでした。
- 資本的支出においては、CT装置等交換などで983万1000円を増額し、予算額は8273万1000円となりました。

条 例

- 暴力団排除条例の制定
暴力団排除の機運を高め、町民や事業者、警察等と町が連携して暴力団排除の推進に必要な事項を定めるため、条例を制定しました。
- 障害者グループホーム条例の制定
平成25年4月1日から、北檜山区北檜山235番地1、旧檜山振興局北檜山監督員詰所を改築して、「せたな町障害者グループホームのぞみ」として供用を開始するため、定員を10名とするなど、必要な事項を定めるため、条例を制定しました。
- 高齢者グループホーム条例の一部改正
平成25年度から、「潤樹高齢者グループホームあさなき」の運営方法として、指定管理者制度を取り入れることから、条例に指定管理者が行う業務を追加するなど、本条例の一部を改正しました。
- 介護サービス事業条例の一部改正
高齢者が地域で自立した生活を営むための地域包括ケアシステムの実現に向けた、介護保険法の改正及び条例の整理にともない、本条例の一部を改正しました。
- 防災会議条例の一部改正
災害対策基本法の一部改正にともない、委員に自主防災組織の代表を加え、総数を40名から50名に増加するなど本条例の一部を改正しました。
- 災害対策本部条例の一部改正
災害対策基本法の一部改正にともない、条例の整理が必要となったため本条例の一部を改正しました。

同 意

○教育委員会委員の任命
任期満了に伴い、次の方の任命(再任)について全員同意しました。

そ の 他

- 土地開発公社の解散
土地開発公社の解散認可申請のため、議会の議決を求められたものです。

報 告

- 平成23年度健全化判断比率・公営企業資金不足比率の報告
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町監査委員の審査意見を付して報告がありました。

決 算 認 定

- 平成23年度一般会計、特別会計の決算認定

意 見 書

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書
提出議員 石原 広務
賛成議員 熊野 主税
同 平澤 等
同 内田 尊之
同 細川 伸男
※内閣総理大臣ほか関係大臣宛提出しました。

◆◆ 全道議員研修会 ◆◆

北海道町村議会議員研修が7月3日、札幌市で行われました。明治大学経済学部教授 牛山 久仁彦氏は「議会改革の展望と課題」、外交ジャーナリスト・作家・慶応大学教授 手嶋 龍一氏は「世界の中の日本・アジアの中の日本～日本の外交戦略を探る～」と題し、講演が行われました。



手嶋氏



牛山氏